

2019年度(平成31年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

<学校用>

校番(18)番 福山市立瀬戸小学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	○課題発見・解決力(問いを持つ 振り返る 見通す)	○コミュニケーション力(聴く 伝える まとめる)	○他者とかかわり合う力・心(思いやり 社会性 貢献)
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	学んで気付いた・考えたことなどを振り返り、次の(新たな)目標や課題を見出しながら、次の学びにつなげていくことができる。	自分の考えを、多様な他者に分かりやすく(例え話の挿入、図表や絵・写真・ホワイトボードの活用、話し方や声のボリューム・トーンの工夫など)伝え、理解・納得を得ることができる。	多様な他者とかかわり合い、それぞれの良さを見出しちがいを受け入れながら、支え合ったり、(競い合い)高め合ったりしようとする。

2 授業の現状

①「児童自らが問いを持つ・話し合う」等、「子ども主体の学び」が進みつつある教科・単元・学習集団が、前年度後半に見受けられた。②「ふり返し」の目的・内容・方法を児童と確かめ合い、評価・交流を行うことで、次の学びへの意欲・見通しをもたせたり、「学び方」を学んだりすることに課題がある。③自分の考え等をつぶやく姿・場面はあるが、他者の考え等をしっかり聴き、自分の考えを広げ・深めたり、練り合いながらまとめたりする単元構成・授業展開に課題がある。

転換

3 めざす授業の姿

- 子どもも先生も「なぜ・どうして・面白い!」と、つぶやき合い・聴き合い・学び合う授業
- 「ふり返し」等を通して、「(教科・領域等固有の)見方・考え方」「学び方」を、学ぶ授業
- その学年の習得内容=生きて働く「知識・技能、思考・判断・表現力、体力」が、身に付く授業⇔家庭学習

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
①深い単元(教材)解釈・分析に基づく単元構成・授業展開(問いを持つ・考える⇒伝える・聴く・話し合う⇒まとめる・振り返る・見通しを立てる)の工夫・改善。 ②学力課題に応じた細やかで粘り強い指導・支援の工夫・改善。	①付きたい力と単元のゴールを明確にするために単元の教材研究を進めた。児童自ら問いをもち主体的に取り組めるよう、発問や問いの工夫・学習形態等を考えて進めた。(職員アンケート70.3%達成) ②個々の実態に応じて問題量を考えたり、児童同士の教え合いの時間をとったりすることで達成感や自信につなげた。(職員アンケート71.9%達成)	①児童自らの主体的な学びに向け、問いを持つ・考える⇒伝える・聴く・話し合う⇒まとめる・振り返る・見通しを立てる、のサイクルになるよう、単元構成の工夫・授業展開の改善を図る。 ②1時間内のつまずきを想定し、支援を考えて授業を行う。	①単元でつける力を明確にしたり、ゴールを設定したりすることで、児童の具体的な活動につなげ、主体的な学び合いの場を作ろうと授業改善を行った。 (職員アンケート75.7%達成) ②視覚支援・学び合いの時間を取る等、児童の実態や学習内容によってよりよい方法を取り、授業を行った。 (職員アンケート74.6%達成)	①児童自らが問いをもてるよう導入の工夫をし、課題解決に向けて主体的な活動ができるように仕組む。班交流や、ペア交流を取り入れ学び合いの場を設定し、根拠を言わせたり質問させたりして対話的な学びを進めていく。 ②児童のつまずきを想定して、導入や準備物を工夫したり、個に応じた支援を考えたりして授業を行う。	

5 取組の結果等

数値は2019年(令和元年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%) <児童生徒質問紙調査>(%) (肯定的評価)

国語	59	自分にはよいところがある	84.0
算数	61	先生はよいところを認めてくれる	89.4
		将来の夢や目標を持っている	90.6
		人の役に立つ人間になりたい	97.4

「基礎・基本」定着状況調査 <児童生徒質問紙調査>(%) (肯定的評価)

学校へ行くのは楽しい	90.7
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	88.0
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	85.3
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	85.3

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%) (12)月末現在

暴力行為	0.2	不登校	1.5
------	-----	-----	-----

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 22/48	2月下旬に、各学年が課題のある項目の再測定を行う予定。	1年 反復横跳び 長坐体前屈	体育の授業の準備体操後に各運動能力を高める運動を取り入れる。毎週、休憩時間にクラス全員で外に出て運動する日を設定する。体育朝会を行い、学校全体で体力を養う時間を設定する。
(女子) 24/48		2年 20mシャトルラン 上体起こし	
	3年 長坐体前屈 上体起こし		
	4年 長坐体前屈 20mシャトルラン		
	5年 立ち幅跳び 反復横跳び		
	6年 立ち幅跳び 反復横跳び		

目標値
 人ととかかわり合って運動する面白さを味わいながら、自己ベストめざして最後までやりぬく児童を育てる。
 ①人ととかかわり合って運動することは、面白い! 80%。
 ②体力テストで、自己ベスト更新児童80% <種目・時期・比較対象⇒各学年判断>

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	94.4	5.6
仕事に充実感がある	88.9	11.1

児童生徒アンケート(%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	83.5	16.5
自分の考えは、認められている	75.1	24.9